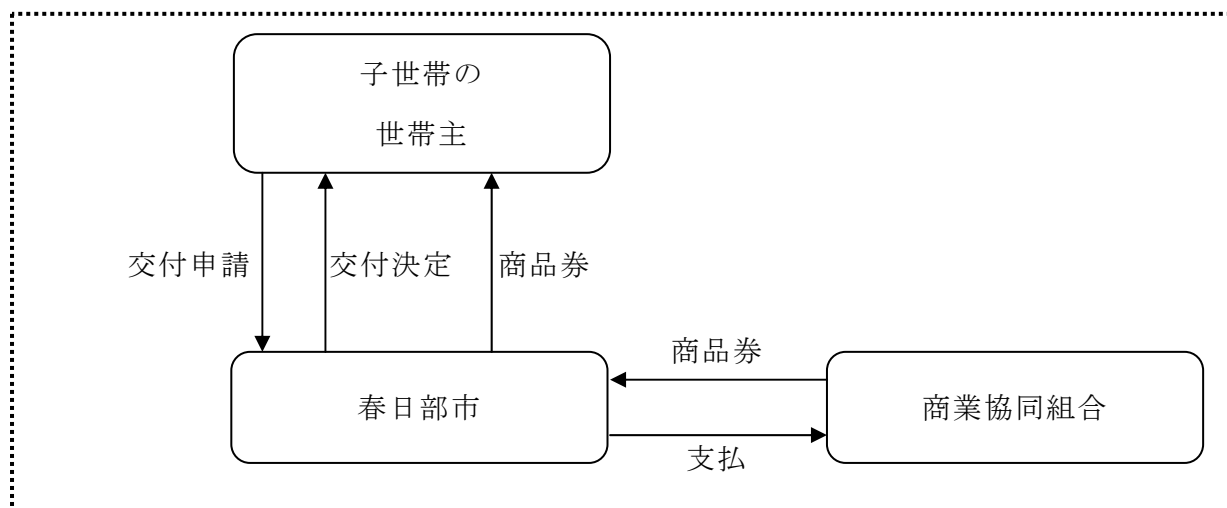


第16章 平成23年度に事業化される提案内容

平成23年1月7日（金）に行われた第2回中間報告により、平成23年度に事業化する方針が決まったものは次の3つである。

- I. ふれあい家族住宅購入奨励事業
- II. ウェルカムガイド作成事業
- III. 官学連携団地活性化推進事業（ルームシェアによる入居促進）

16-1 ふれあい家族住宅購入奨励事業

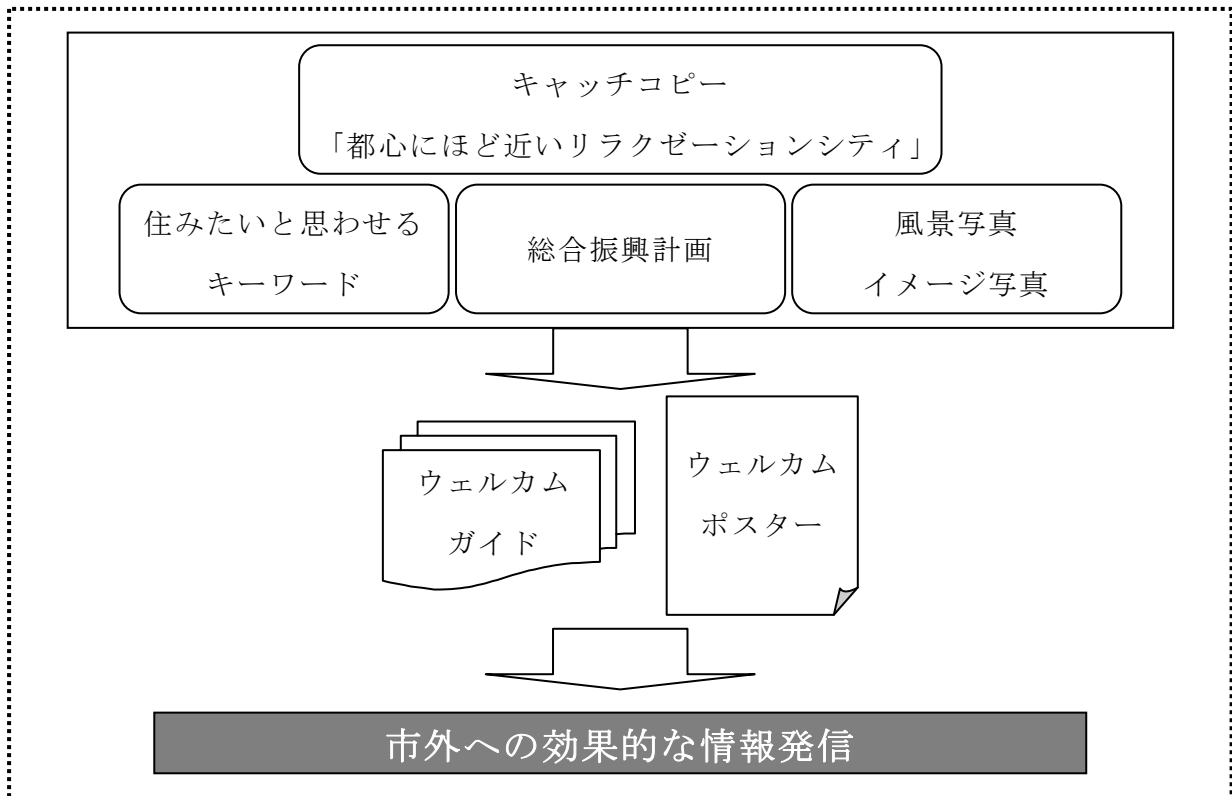


■ 予算額 600万円

積算：商品券交付額1世帯当たり 10万円×60世帯＝600万円

※ 登記費用・・・20万～40万円

16-2 プロモーションガイド作成事業

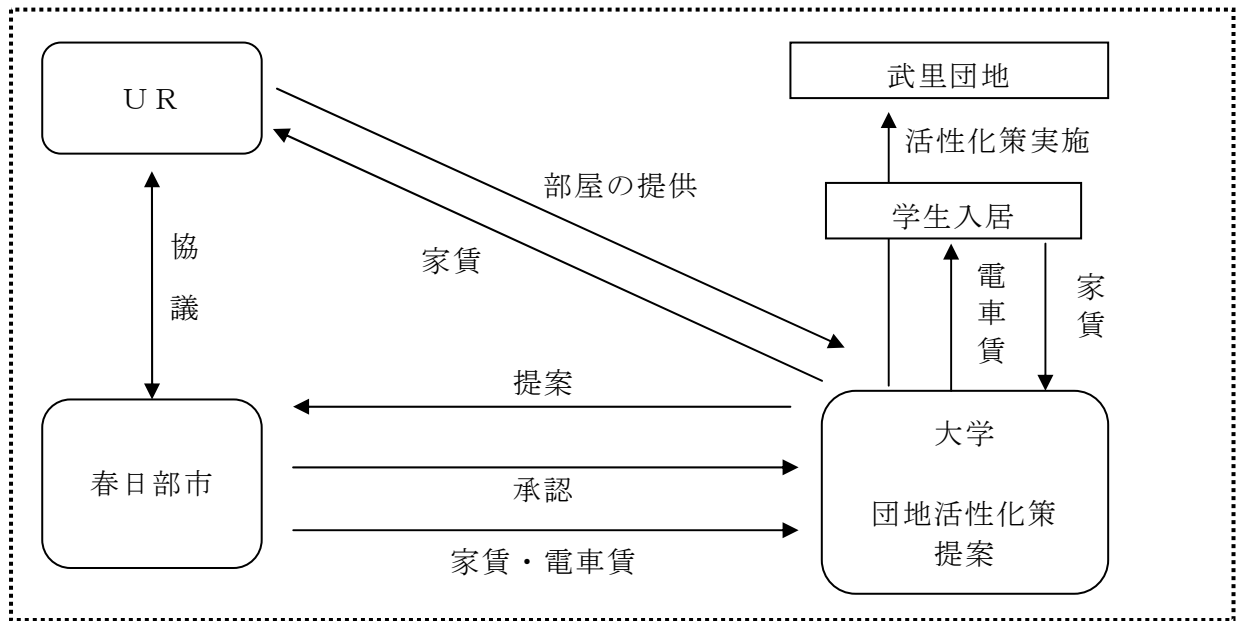


■予算額 126万円

ウェルカムガイド概要版 2万部×55円×1.05=1,155,000円

ウェルカムポスター 100部×1,000円×1.05=105,000円

16-3 官学連携団地活性化推進事業（ルームシェアによる入居促進）



■ 予算額 59.7 万円

積算 2 戸借上げ 3 K の場合（3 人のルームシェア）

家賃 月額 45,000 円 × 1/2 × 12 月 × 2 戸 = 540,000 円

電車賃 年 38,000 円 × 1/2 × 3 人 = 57,000 円

本事業を計画するにあたり、ルームシェア・地域貢献活動に関して先進事例である板橋区高島平団地において活動を行っている「みらいネット高島平」へ視察を行った。以下、視察により得られた見解を示す。

概要

みらいネット高島平とは、大東文化大学環境創造学部、地元住民、学生の協力期間である。地域の方々と高島平団地学生入居プログラムによって入居する学生（留学生含）を中心に展開される、コミュニティボランティアを学生教育の場として、また、高島平地域を研究実践の場として行くことで、地域活性化に教育・研究という視点から貢献している。

【活動内容】

- ・ コミュニティカフェ運営
- ・ 高島平団地パトロール隊
- ・ 公開講座 膝イタ体操
- ・ ミニ FM 局 など

高島平団地（みらいネット高島平団地）への視察

日時：平成23年2月18日（金）11：00～13：00

場所：板橋区高島平団地内「グリーンカフェ※」

※みらいネット高島平が運営するコミュニティカフェ

出席者：みらいネット高島平

井上 温子 氏（大東文化大学環境創造学部 職員）

池田 氏（大東文化大学 大学院生）

政策課政策推進担当

主査 吉久 高秀

主任 松井 紗智子

主事 三浦 正史

ルームシェアに関して

■ 家賃補助は大学が行っているのか？

□ 行っている。（メンバーが抜けた場合も大学が負担している）

● 1DK（20件）

学生負担（1人あたり）：45,000円 通常家賃：約66,000円

差額：21,000円

● 2DK（2件）

学生負担（1人あたり）：36,000円 通常家賃：約88,000円

差額：16,000円

● 3LDK（1件）

学生負担（1人あたり）：32,500円、35,000円、37,500円

※分譲団地でオーナーが家賃を値引きしてくれたため、補助はしていない。部屋毎に家賃が設定されている。

■ ルームシェアへの申し込みはどのくらいか？

□ 1DKは多いが、ルームシェアは人気がない。

■ 応募学生に対する面接の実施者および評価点

□ 環境創造学部の教員、事務職員で面接を行う。

ボランティアをやる意思や、三者協議会への参加意思をみる。

■ 高熱費、水道代などはどのように支払っているのか？

折半方法、家賃の支払い（部屋の大きさが違うなど）、高熱費の支払いの流れはどうなっているのか？

□ 入居学生たちで取り決めを行って支払っている。部屋の名義人は大学だが、水道代や電気代は学生個人名義になっているため、大学を通さずに支払っている。大学が関与することはしていないが、これまでにトラブルになったことはない。

■ 家賃の支払いについて

□ 大学経理部に家賃を支払っている。経済的に厳しい状況の学生が入居するケースが多く、家賃滞納は結構ある。

■ ルームシェアの魅力、する上でのアドバイス（入居者が注意すべき点）

□ 今までにルームシェアで学生間の問題が起こったことはない。常識的なことをお互いが気をつければ問題ない。アルバイトなどで、ほとんど会わないということもある。

今までに、ルームシェアがいやになって、退居した例はない。

■ カギについて

□ ルームシェア用の物件では、各部屋にカギをつけた。これは大学の自己負担金によって行った。

■ 留学生へのサポートは（日本語に関して）？

□ 日本語を話せる留学生がほとんどなので、特別支援していることはない。

地域活動に関して

■ 住民とのトラブルや困った点はなかったか？また、あった場合にどのように対処をしたか？

□ 今までにトラブルとなった話は聞いていない。野菜やお土産を住民の方にもらえるなど、よいことのほうがよい。

■ 月7時間以上のボランティアは確認方法があるのか？

□ 1か月のスケジュールを出してもらって、その通りに活動しているかを確認している
活動が少ない人には声をかける。

■ 学生の提案について

□ 三者協議会が基本は提案の場であるが、お金がかかるなどの重要なものは除き、やりたいことをやって問題ない。事後報告の場合もあり、学生の自主性を尊重している。

現在行っていることは、中国語・英会話などの語学、書道講座、音楽イベントなど

■ ボランティアの範囲について

□ 大学とカフェの周辺（2丁目が多い）。しかし、カフェに来る人は団地外からの人も当然いる。

周知活動は、団地の掲示板を利用している。

■ 教員はどのような立場で関わっているのか。

□ 責任者・監督者として。

このプロジェクトの当初は研究フィールドとして団地を見ていたが、現在では研究面はほとんどなく、教育面のフィールドとしてみている。教授陣の入れ替わりもあり、積極的な先生がいなくなってきた。

■ 日常作業のお手伝いで、依頼が殺到し対応しきれなくなることはないか？

□ 日常のお手伝いなどのボランティアは別組織である自治会が行っている「助け合いの会」で行っている。この会への学生の参加は任意。

一回250円のチケットを買って、お手伝いをしてもらう形式。学生以外の自治会員の人も会には入っており学生の負担が多いということはない。

■ 活動をする上で住民の個人情報の把握などを行っているのか？

□ 今のところ個人情報が必要な活動は行っていない。

■ 自治会の加入費は個人負担か？

□ 学生の自己負担

強制的に加入することで、自治会への理解が深まる利点はある。

■ 助け合いの会では、どんな依頼が多いのか？

□ 電球の交換・お買い物・お風呂掃除・病院への付き添い・パソコンの使用法、重いものの移動 など

■ 自治会（住民）からの依頼

□ 「学生・大学にやってほしい」ではなく、自分がこういうことを「やりたい」という提案がほとんど。

■ 平成23年度から行う板橋区の事業（高島平団地を対象とした調査・研究）に関わっているのか？

□ 大学としては関わっているが、みらいネット高島平としては関わっていない。

■ カフェの運営にかかる費用は？

家賃	127,000 円／月 × 12 = 1,524,000 円／年
水道・高熱費	25,000 円／月 × 12 = 300,000 円／年
消耗品	150,000 円／年
合計	1,974,000 円／年